

復興の歩みを進めるいわて三陸の姿を紹介します。

復興キラリ

タウンポート大町（釜石市）



共同店舗「タウンポート大町」に入居している店主の皆さん。左端は、運営をサポートする釜石まちづくり株式会社の谷澤栄一社長。

店主全員で力を合わせ、地域に愛される商店街に！

市民ホールや情報交流センター、イオンタウンなど、さまざまな施設が集まる釜石市大町地区。広場にはウッドデッキやベンチが備えられ、多くの市民が集う憩いの場となっています。

震災後に、復興のフロントエリアとして新たなまちづくりが進む中、先導的な役割を担ったのが、共同店舗「タウンポート大町」。仮設

店舗などで営業していた店主たちの本設店舗として2014年にオープンし、現在は、飲食店や小売店、美容院など個性豊かな9店舗が入居しています。



店主たちが協力し、子ども園の園児を迎えて「職場体験」も行っています。（2019年7月撮影、釜石まちづくり株式会社提供）



〔問〕釜石まちづくり株式会社
0193-22-3607

「入居している店主は年代も業種もばらばら。だからこそ個性のあるサービスを提供できる」と話すのは、運営会社である「釜石まちづくり株式会社」の谷澤栄一社長。月に1回テナント会議を開き、売出しイベントを企画したり、幼児向けの体験教室を開催したりするなど、地域に根ざした活動を行っています。

店舗同士で協力し合いながら、新たな試みにも挑戦するタウンポート大町。みんなが地域に愛される店づくり、場所づくりを進めています。

震災の教訓を忘れない！

震災の記憶や教訓を学び、釜石の魅力に触れよう！



釜石市の鶴住居（うのすまい）駅前にある「うのすまい・トモス」は、東日本大震災津波の記憶や教訓を未来に伝えるとともに、市民が憩い親しめる場として造られた複合型公共施設です。震災の犠牲者を慰霊、追悼する施設「釜石祈りのパーク」、防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」、地元の味や特産品などが揃う観光交流拠点施設「鶴の郷交流館」で構成され、地域活動や観光交流の拠点となっています。

周辺には「釜石鶴住居復興スタジアム」や「釜石市民体育館」などのスポーツ施設もありますので、ぜひ足をお運びください。 [うのすまいトモス公式サイト▶](#)

